能代市バスケの街づくり推進委員会委員（R６～）

【指名委員】

No.	氏名	年代	性別	主な所属団体等	備考	再･新
1	湊　哲一	40代	男	合同会社　のしろ家守舎	まちづくり関係	再
2	山田　雄子	30代	女	特定非営利活動法人能代観光協会	商業関係	再
3	鈴木　了	30代	男	cochiデザイン二級建築事務所	まちづくり関係	再
4	山内　健斗	20代	男	能代商工会議所	競技関係	再
5	植村　太一	20代	男	グローバルデザイン事業 ギフトリンク	商業関係	再
6	遠田　貴大	20代	男	能代科学技術高等学校（教諭）	競技関係	新
7	安岡　亜里紗	30代	女	一般社団法人　能代市青年会議所	まちづくり関係	新
8	竹内　優理奈	20代	女	能代市市民活動支援センター	まちづくり関係	新
9	長嶺　薫	30代	女	能代市地域おこし協力隊 （バスケの街づくり担当）	まちづくり関係	新
10	江南　綾絃	20代	男	能代市地域おこし協力隊 （中心市街地活性化担当）	まちづくり関係	新
11	金沢　佑紀	30代	男	株式会社Kanata factory	商業関係	新
12	諸江　秋広	30代	男	株式会社RLECT	まちづくり関係	新
13	小嶋　元	30代	男	一般社団法人　能代市青年会議所	まちづくり関係	新

【任期】令和６年７月４日～令和８年３月３１日

〇人選にあたっての視点

「人づくり」　計画の推進を担う１０年後の人づくりの視点で年代等を考慮

「実践重視」　計画の点検を意識して、１０人前後の人員で想定

「分野のバランス」　まちづくり関係、競技関係、商業関係で組織

能代市バスケの街づくり推進委員会　協働パートナー名簿

職	氏　名	備　考
生涯学習・スポーツ振興課　スポーツ振興係長	高橋　知康	協働パートナー
商工労働課　中心市街地活性化室長	平川　健一	協働パートナー
観光振興課　観光振興係長	金平　勝利	協働パートナー
能代バスケミュージアム（会計年度任用職員）	小林　尚子	オブザーバー
能代バスケミュージアム（会計年度任用職員）	菊地　香織	オブザーバー
能代バスケミュージアム（会計年度任用職員）	笹原　美己子	オブザーバー
市民活力推進課 課長	大山　恵美	事務局
市民活力推進課 参事（地域づくり支援係長兼務）	銭谷　進	事務局
市民活力推進課 地域づくり支援係　主査	井上　純	事務局
市民活力推進課 バスケの街づくり推進担当 主任	諸澤　駿	事務局

（連絡先）
〒016-8501　秋田県能代市上町１番３号
能代市 企画部 市民活力推進課 バスケの街づくり推進担当
電話　０１８５－８９－２１４８　　ＦＡＸ　０１８５－８９－１７７０
E-mail　shun-morosawa@city.noshiro.lg.jp

第４回 能代市バスケの街づくり推進委員会

日　時　令和７年４月２３日（水）
　　１８時３０分～
場　所　マルヒコビルヂング

次　　第

１　開　会

２　委員長あいさつ

３　協働パートナー及びオブザーバー、事務局職員紹介

４　各委員の自己紹介

５　内　容
（１）委員会の目指すべき方向性について（今年度の委員会として目標）

（２）秋田ノーザンハピネッツプレシーズンゲームに向けた取組について

（３）今後のスケジュール（案）について

６　事務連絡

７　閉　会

（1）委員会の目指すべき方向性について

～能代市バスケの街づくり推進委員会の今後の取組について～

1．再確認に至った経緯

・現計画は令和５年度～９年度までの５年間。」以下の３つの目標を設定している。

第２次能代市バスケの街づくり推進計画の目標（P5～P7掲載）

（1）バスケの街で多様な関わりが生まれること

（2）バスケの街の魅力に触れられること

（3）バスケの街を未来につなげること

・現在、第２次能代市バスケの街づくり推進計画に基づき、事業を実施しているが、
イベント、行事を実施することで完結しており、計画の推進につながっていないのではないか。

・目標が漠然としていて、委員会として向かう方向性がはっきりしていないのではないか。

・委員会は計画の点検及び推進を市と協働で行っていく。

・委員会としても、街づくりのビジョンである「バスケでみんなが元気になれる街」に向け、方向性を明確にして
取組を考える必要がある。

2．当委員会の目標設定

・前回の委員会で出た意見をもとに、上記（1）～（3）の目標に沿った、今年度の当委員会の目標を定める。

・以下の目標の実現に的を絞った取組を委員会として実施していく。

1．バスケの文化の再考

2．バスケの街プロモーション

3．学生への支援

能代市バスケの街づくり推進委員会がやること

議論し指標を作り提言する

バスケ文化の再考

【協議】

○**バスケ文化の再考**
昔、公園にバスケリングとボールが設置され、子どもたちが自由にバスケを楽しんでいた文化を再評価。現在、そのような場所が減少し、バスケの機会が少なくなった中、市役所の駐車場を活用してその文化を再現することを協議します。職員が昼休憩にバスケをし、市民や観光客も利用できる形で再活性化を図ります。

【指標作成】

○**バスケの利用頻度**
市役所駐車場に設置されたバスケコートの利用頻度（職員、市民、観光客の利用状況）を測定。
○**市民の関心度**
市民や観光客の参加意欲を、アンケートや参加人数で評価。

【具体的提案】

○**市役所駐車場にバスケコートを設置**
駐車場の一部にバスケコートを設置し、職員の昼休憩時にバスケを楽しむ。空いている時間は市民や観光客にも開放し、自由に利用できるようにする。
○**地域イベントの開催**
バスケをテーマにした地域イベントや大会を開催し、市民や観光客を巻き込む。
○**市民への呼びかけ**
バスケ活動を促進するため、地域での参加を呼びかける啓発活動を行う。

【期待される結果】

○**地域の活性化**：市役所駐車場が賑わい、地域全体が活性化。市民や観光客がバスケを通じて交流し、一体感が生まれる。
○**健康促進**：市民が健康的な活動を取り入れ、バスケを通じて身体的・精神的健康が向上する。
○**観光促進**：「バスケの街」のイメージが広まり、観光客が増加。観光資源としてバスケ文化が活用される。
○**地域ブランドの向上**：地域が「バスケの街」として認識され、外部からの注目を集め、地域の誇りと自信が高まる。
○**経済効果**：バスケイベントや観光活動を通じて、地元商店や飲食店が賑わい、地域経済が活性化。

バスケの街プロモーション

【協議】

○バスケの街プロモーション
「バスケの街能代」のブランド力向上のため、地域内外のどういった層に、どのようにして、そして、結果どうなることが望ましいかを考えてプロモーションするかを協議します。

【指標作成】

○
○

【具体的提案】

○
○
○

【期待される結果】

○
○
○
○
○
○

学生への支援

【協議】

○学生への支援

　少子高齢化が顕著な能代市において、高校卒業した学生や、多くの若者が県外に流出しています。能代市内にある高校に入学する県外の生徒に対して、下宿費や寮費を支援する制度について協議します。

【指標作成】

○

○

【具体的提案】

○

○

○

【期待される結果】

○

○

○

○

○

秋田ノーザンハピネッツプレシーズンゲームに向けた取組について

１.概要について

〇市では平成２８年、秋田 NH との連携・協力に関する協定を締結

〇小中学生等の育成年代へのバスケクリニック、保育所訪問事業など、バスケットボールを通し、地域の振興及び発展を目的に事業を行っている

〇令和３年度まで、秋田 NH ホームゲーム能代開催していたが、４年度からは観客動員数４，０００人以上を満たすことができず、市で開催できていない

※２０２６シーズンからスタートするＢリーグ新構想「Ｂプレミア」に参集するためには、平均観客動員数が４，０００人以上必要で、県内ではＣＮＡアリーナとナイスアリーナのみ、ホームゲーム開催が行われている

２.プレシーズンゲーム開催について

〇市制２０周年記念事業を冠とした、プレシーズンゲームを能代市総合体育館で開催する

〇開催時期は９月中、試合数や対戦相手については２４－２５シーズン終了後に決定となる

〇令和元年、市でプレシーズンゲーム開催実績あり
（ハピネッツ主催事業のため、市予算計上なし）

以上のことから、市で開催することで広くバスケの街能代をＰＲするとともに、日本最高峰のバスケットリーグを市民の方に一人でも多く観戦させたい。

↓

〇秋田 NH との連携・協力に関する協定の中で、市民の方がプレシーズンゲームを観戦してみたいと思わせる取組を実施したいと考えている

〇取組（案）について、委員のみなさま、協働パートナーのみなさま、オブザーバーのみなさまから伺いたい（取組に係る予算はなし）

※一案として、能代バスケミュージアム内のハピネッツブースで展示しているグッズを最新のグッズにアップデートし、今のブースターが楽しめるような内容にしたいと考えている

※８月２日（土）、３日（日）どちらかで、ハピネッツ選手によるバスケクリニック実施される予定（能代市スポーツ協会主催）

〇昨年、一昨年ともに選手による握手会を開催

〇秋田 NH 事務局との打合せは今後実施する予定

令和７年度のスケジュール（案）

時期等	時間	場所	主な協議内容等
４月２３日	１８時３０分	マルヒコビルヂング	・委員会の目指すべき方向性について ・秋田ノーザンハピネッツプレシーズンゲームに向けた取組について ・今後のスケジュール（案）について
６月初旬	１８時３０分	マルヒコビルヂング	・目標に向けた事例の説明 ・秋田ノーザンハピネッツプレシーズンゲームに向けた取組について
８月頃	１８時３０分	マルヒコビルヂング	・のしろいちバスケブースの取組に向けて ・目標に向けた勉強会
９月頃	未定	ＪＲ東能代駅	・湊委員長によるＷＳ 東能代駅待合室のリノベーション 能代高校生やJRペッカーズ選手らと待合室をリノベーションする活動予定
１０月頃	未定	未定	・のしろいちバスケブースの取組最終調整 ・「バスケの日イベント」委託の取組について ・目標に向けた勉強会
１１月頃	未定	未定	・「バスケの日イベント」委託の取組中間報告 ・目標に向けた勉強会
１２月中旬	未定	未定	・「バスケの日イベント」委託実施
２月頃	未定	未定	・目標に向けた取組（案）の作成 ※提言報告書作成のため
３月頃	未定	未定	・令和８年度の目標の設定について等